

抗原発現細胞の細胞死を誘導します 2° ADC



細胞傷害性薬物が結合した二次抗体です。抗体に細胞傷害性薬物を結合した ADC は、抗原が発現している標的細胞に対して選択的に細胞死を誘導できます。

一次抗体に対して複数種類の 2° ADC (Secondary Antibody-Drug Conjugate) をスクリーニングすることにより、標的細胞にとって効果的な細胞傷害性薬物を検討することができ、ADC 作製に最良な抗体候補を検討する一次抗体のスクリーニング検査の操作時間およびコストを節減することができます。

※本製品は研究用です。研究用以外には使用できません。

■2° ADC の形状



■リンカー (一部の製品は以下の 2 種類から選択できます)

・Cleavable Linker (開裂可能なタイプ)

細胞内で酵素によりリンカーの結合が切断され、薬物が放出される。この際、薬物が標的細胞外にも放出され、隣接する細胞にも細胞死を誘導できる。

・Non-Cleavable Linker (開裂しないタイプ)

標的細胞に取り込まれた 2° ADC がアミノ酸レベルまで分解されると、アミノ酸-リンカー-細胞傷害性薬物が機能し、細胞死を誘導する。

■細胞障害性薬物

- ・チューブリン阻害物質：MMAE, MMAF, DM1
- ・DNA 損傷薬物：デュオカルマイシン (DMDM, DMSA), PNU, PBD

製品の一例 (Full Length IgG 2° ADC)

包装/価格：20 µg / ¥56,000

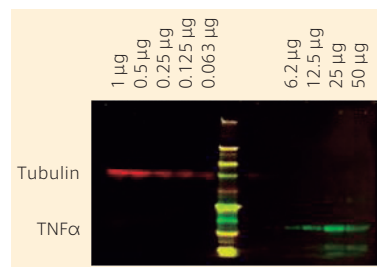
[メーカー：MOR]

標的一次抗体	品名		商品コード
	薬物	リンカー	
Anti-Human IgG, Fc Specific	DM1	Non-Cleavable	AH-103D1-20
	DMDM	Cleavable	AH-102DD-20
	DMSA	Cleavable	AH-102DS-20
	MMAE	Cleavable	AH-102AE-20
		Cleavable	AH-102AF-20
	MMAF	Cleavable	AH-102AF-20
		Non-Cleavable	AH-101AF-20
PBD	Cleavable	AH-106PB-20	
PNU	Cleavable	AH-102PN-20	

※その他のラインナップは、フナコシ Web をご覧ください。

ウェスタンブロット用の 近赤外 (NIR) 蛍光標識二次抗体

DyLight NIR 色素は強い蛍光と感度を有し、細胞研究に必要な標識抗体の量が少なくすみます。励起/蛍光波長は一般的な蛍光機器と互換性があり、AlexaFluor シリーズ, CyDye シリーズ, および IRDye シリーズの蛍光色素の非常に優れた代替品となります。



近赤外蛍光色素標識二次抗体の二重蛍光ウェスタンブロットでの使用例

製品ラインナップ

DyLight 680 (682 nm/715 nm) と DyLight 800 (770 nm/794 nm) で標識された製品があります。

抗原		免疫動物	吸収処理	
動物種	Ig			
Mouse	IgG (H+L)	Donkey-Poly	— Pre-Adsorbed	
		Goat-Poly	— Pre-Adsorbed	
		Rabbit-Poly	— Pre-Adsorbed	
		Sheep-Poly	—	
		Goat-Poly	—	
	IgG F (c)	Rabbit-Poly	—	
		IgG ₁	Rabbit-Poly	—
		IgG _{2a}	Rabbit-Poly	—
		IgG _{2b}	Rabbit-Poly	—
		IgG ₃	Rabbit-Poly	—
IgG _{1, 2a, 2b, 3}	Rabbit-Poly	—		
IgM	Goat-Poly	—		

※Mouse 以外の動物種の製品もあります。詳細はフナコシ Web でご確認ください。

オススメ製品

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Anti-IgG (H+L), Mouse, Donkey-Poly, DyLight 680	RCK	610-744-124	100 µg / 21,000
適用: Fluorescence based plate assay (FLISA), Immunofluorescence, Western Blotting. 血清吸着処理済み。			
Anti-IgG (H+L), Mouse, Goat-Poly, DyLight 800	RCK	610-145-121	100 µg / 21,000
適用: Fluorescence based plate assay (FLISA), Immunofluorescence, Western Blotting. 血清吸着処理済み。			